



ありがとうございます 議会モニターからの ご意見・ご感想

今年度から新しく始まった「議会モニター制度」。

9月定例会の傍聴・インターネット中継・録画放送、井戸ばた会議、11月発行の議会だよりについて、モニターの方々からご意見・ご感想をいただいていますので紹介します。

いただいたご意見やご感想を参考に、より良い議会活動・運営に繋げて行きたいと思います。

情報発信	・SNSツールを使い幅広く情報発信を
インターネット中継・録画	・マイクが雑音を拾っていて聞きにくい ・カメラが固定だが問題はない
井戸ばた会議	・「子育て」がテーマならば昼間にも開催してほしい ・参加者を増やす工夫が必要 ・色々な時間帯の開催の検討を
議会だより	・表紙はカラーでなくて良い、コストダウンを ・全面カラーの写真が楽しみ ・写真があるとわかりやすい ・他の町の議会だよりが読みたくなった ・わからない単語に注釈を
政策・まちづくり	・人手不足は深刻な問題。前例のないことでもチャレンジしてほしい ・総合計画は継続が多く心配 ・幼児センターへ保護者アイデアを伝える機会がほしい



こんな疑問もありました

Q 本会議場のマイクは誰かが操作しているの？

A 議場書記席（議場中央）に座っている議会事務局職員が操作しています。

Q 表紙のカラーとモノクロではどれだけ金額が違うの？

A カラーにすると1号発行につき総額3千円高くなります。年4回発行なので1万2千円です。

新年を迎えて、早ひと月が過ぎ厳寒の日々になりました。この厳しい寒さも下川町にとっては「徳」と考えたのが、伝統のアイスキャンドルの祭りです。

江戸時代、困窮した米沢藩を再建した上杉鷹山は、師の細井平洲の「土地に潜む徳を掘り起こす」との教えを守り、自らの土地の可能性にこだわり工夫を重ねて養蚕業などを育て、仕事をつくり、藩を立て直しました。

一歩違った目線で見ると、下川には「潜む徳」がまだまだあるのではないのでしょうか。

暮らしやすい町、そしてなにより、子供たちが将来、誇りに思える町にしたい。

「潜む徳を、声を」大事にして歩む一年に、していきたいものですね。

(齊藤)

編集後記